
平成 30 年度

まちづくり活動助成 活動視察

団体名 大門まちづくり友の会

「浴衣でインスタフォトコンテスト

&夜の大門魅惑のナイトツアー」

昭和の風情が残るまちの魅力をPRするために、行われた「インスタフォトコンテスト！」と、大門の達人（地元の住民や商店主）と一緒に路地裏の界隈を夕暮れから巡る、オトナのまち歩き「夜の大門魅惑のナイトツアー」の活動について紹介します。

○平成30年11月17日（土）16時00分～

○場所「大門横丁記念館」、「瑞龍山白王寺（通称：中村観音）」他

※フォトコンテストは、告知開始後、8月31日まで約2か月募集、SNS上で開催しました。

■浴衣でインスタフォトコンテスト

大門フェスの一環として、風情ある大門のまちをPRするために、浴衣姿で大門の街で写り、魅力ある景色を発信することを目的に、SNS（インスタグラム）を活用して「インスタフォトコンテスト」が行われました。

（写真右：応募総数232点から選ばれたグランプリ作品）



■夜の大門魅惑のナイトツアー（11月17日開催）



このツアーは、名古屋の中でも昭和の風情や人情、歴史的建造物が残り、観光資源としても面白い場所がある事を知って貰いたいとの思いから開催され、参加者も「大門地区」に初めて訪れたという人ばかり。一人では入りにくい路地裏の小路や、魅惑のスポット、歴史あるお寺など、夕暮れから夜にかけてのまち歩きを、達人である代表の加納さんの案内で楽しみました。

（写真上：参加者のみなさん。着物の女性はフォトコンテストのグランプリ受賞者）

大門の達人特選スポット①【大門横丁記念館ひかり】



アーティストでもあり、仏具専門店（撥の製造販売）を営む岩田恵治さんが、この風情ある場所を残したいとの思いから廃墟だった3.5坪の狭い居酒屋を買い取り作った私設の記念館。

当時の居酒屋の雰囲気そのままに、昭和のおもちゃを中心とした骨とう品など、昭和時代の当時の生活の様子をうかがい知れる穴場スポット。

大門の達人特選スポット②【瑞龍山白王寺(通称：中村観音)】



故藤山寛美さんが発起人となり、御園座の関係者とともに建立された「芸人塚（昭和50年に建立）」と、米野火葬場に放置されていた無縁のご遺骨の供養と地域の発展守護を願い、昭和8年に完成した屋内にある高さ約4mの「十一面観世音菩薩」。芸人塚と習い事成就にご利益があるとされる観音様には、今でも芸に関わる方など多くの参拝者が訪れるとのこと。

大門の達人特選スポット③【居酒屋善ちゃん】



舞台役者さんたちが、このあたりを宿舎としていたため、下積み時代の若手が足しげく通っていた安くて美味しい地域の飲食店。

その後、若手から有名な舞台俳優となった大物芸能人たちも、名古屋で公演があるときは、菓子折りを持ち、店主であるおばあちゃんに、こっそりお忍びで会いに来るといった魅惑の居酒屋「善ちゃん」

まち歩きでは、昭和初期の街が和装姿の人々にぎわいとでも華やかだった頃や、芸人塚の建立当時の式典などの貴重な写真も見せてもらい、当時の様子も知ることができました。

終了後に行われた表彰式と懇親会では、歴史建造物を大切に保存し大門のにぎわいを取り戻したい団体のメンバーの熱い思いが語られ、参加者からは、来る前に想像していた街のイメージとのギャップがとても楽しいまち歩きだったと感想が語られ、次回のまち歩き企画や、大門横丁や小路の空き店舗活用など、まちがにぎわうアイデアを一緒に考え盛り上がりしました。

団体みなさんには、これからも地域の魅力を発信し、住んでいる人のシビックプライド（まちへの誇り）に繋がる活動を継続していただけたらと思います。